

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	21191
課題名	妊産婦の骨格筋量が産後のメンタルヘルスに与える影響についての解明
研究期間	実施許可日 ～ 2027年 3月 31日
研究の対象	2022年5月～2026年12月に妊娠初期（妊娠14週未満）で当院を受診し、当院で出産予定の方
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：病歴、妊娠・分娩歴、治療歴、児の病歴 等） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input checked="" type="checkbox"/> その他（研究目的での体組成計測定結果、質問票 ）
研究の意義、目的	<p>日本の妊産婦の自殺が、妊産婦死亡の原因の中で多いことが問題となっています。妊産婦さんのメンタルヘルスケアは、精神的または社会的なサポートが中心であり、身体骨格筋量（体を動かすための筋肉）の低下といった身体的な健康の悪化が、妊産婦さんのメンタルヘルスにどのような影響を与えるかは明らかになっていません。</p> <p>今回、妊産婦さんの骨格筋量を妊娠初期から産後1か月まで定期的に測定することで、骨格筋量と産後のメンタルヘルスの関係を明らかにして、産後のメンタルヘルスの向上に役立て、将来的には妊産婦さんのうつ病発症のリスクを減らすことを目的としています。</p>
研究の方法	<p>本研究に参加していただく妊産婦さんは、当院で出産することが予定されている方です。本研究ではマルチ周波数体組成計を使用します。妊娠初期（妊娠14週未満）、妊娠中期（妊娠24週～27週）、妊娠後期（妊娠34週～37週）、産後1か月の計4回、外来で体組成計による測定を行います。体組成計による測定方法は、専用の測定器（体重計）に裸足で約15秒間乗ります。体重や体脂肪率、筋肉量、脂肪量、水分量などを測定することができます。また、妊娠中期に質問票（うつ症状や日頃の身体活動量について）に回答していただきます。</p> <p>産後1か月健診の際に、エジンバラ産後うつ病質問票を用いた産後うつのスクリーニングを行っています。骨格筋量の高い妊婦さんと低い妊婦さんの産後1か月のメンタルヘルスの状態を比較検討します。</p>
その他	特記事項はありません。
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記</p>

の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号

旭川医科大学 産婦人科学講座

電話：0166-68-2562

担当者氏名：中西 研太郎

研究責任者：旭川医科大学産婦人科学講座 中西 研太郎